

文化かごしま

第 124号

令和 4年 9月 25日

鹿児島県文化協会

発行人 原口 泉

鹿児島市山下町 5-3

宝山ホール(県文化センター)内

TEL 099-223-3123

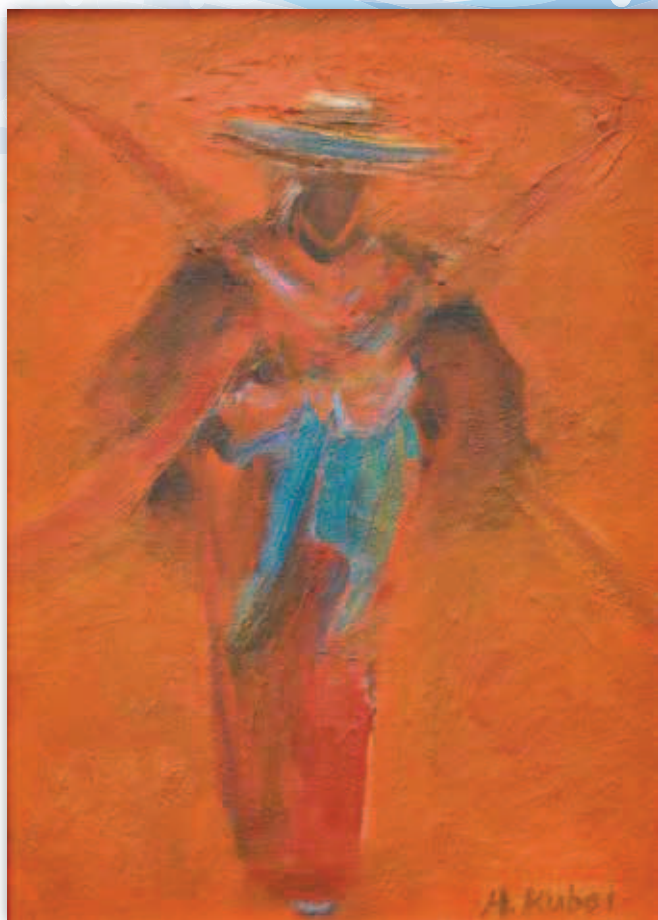
HP



Email

kabunkyou@yahoo.co.jp

ka-bunkyou@po.minc.ne.jp



『稲摺踊り』(由井のっ豊年祭)



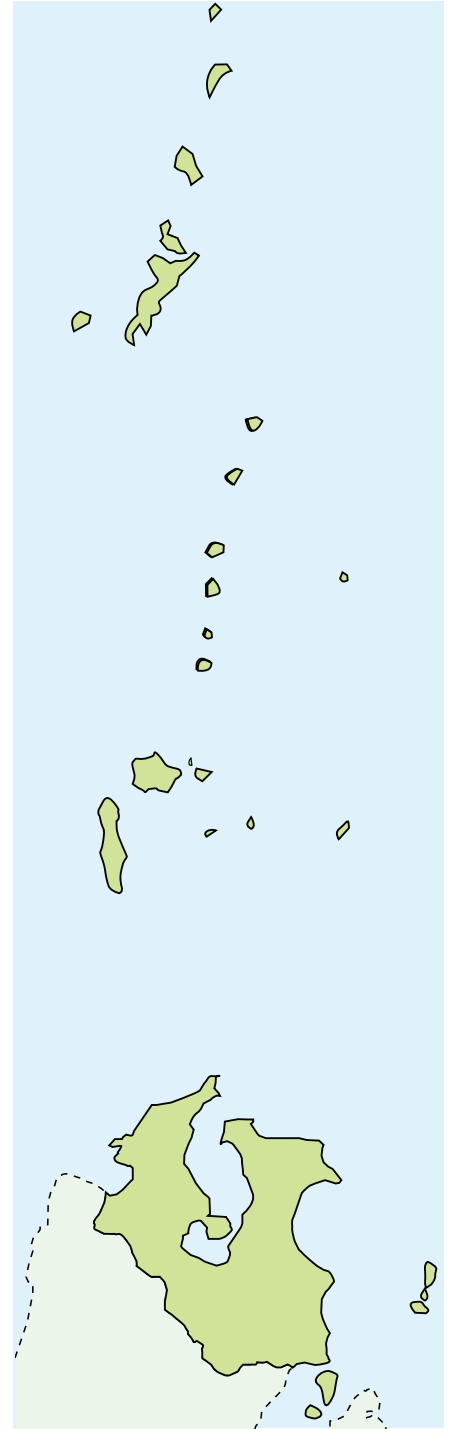
『諸鈍の響き』(諸純シバヤ)

久保井博彦さん(奄美市名瀬 在住)



目次

実行委員長あいさつ	2
「世界にはばたけ奄美の文化」 ～世界自然遺産登録記念『県民文化フェスタ in あまみ 2022』開催にあたって～ 奄美市文化協会会長 境 賢勇	
県民文化フェスタ in あまみ 2022」プログラム	4
奄美地区文化協会の活動紹介	5
奄美市(名瀬・笠利・住用) 大和村 宇検村 瀬戸内町 龍郷町 喜界町 徳之島町 天城町 伊仙町 和泊町 知名町 与論町	
連載【この人に訊く】VOL.3	12
「あのときの風景を思い浮かべながら」 唄者 西 和美さん	
燃え続ける文化の灯	20
ブブ 鹿児島オペラ協会 (一社) 裏千家淡紅会鹿児島支部 萌桜会 鹿児島文化交流協議会 Kagoshima カンツォーネ協会 鹿児島県尺八連盟 鹿児島県おかあさんコーラス連盟 田の神を守る会 鹿児島交響楽団 鹿児島県合唱連盟 天秤宮II	
特集「2023 かごしま総文」第47回全国高等学校総合文化祭	26
プロジェクト始動	31
賛助会員・寄付金・協賛広告募集	33
令和4年度 役員・理事の紹介	34
編集後記	35



創業 明治30年 (お弁当仕出し)

株式会社 鶴鳴館

鶴家

お弁当パンフレットご希望の方は郵送いたします。
お電話お待ちしております。 電話 099-294-2500



写真は懐石弁当 3,500円



世界自然遺産登録記念 「県民文化フェスタ in あまみ 2022」 開催にあたって

実行委員長挨拶 境 賢勇

*世界へはばたけ 奄美の文化

二〇二一年七月奄美・徳之島が世界自然遺産登録に決定し、今年で一周年になります。遺産登録を記念し奄美大島で「県民文化フェスタ in あまみ 二〇二二」が初開催できますことを大変うれしく思います。これもひとえに関係者皆様方のご尽力ご協力の賜物だと感謝申し上げます。

本文化フェスタは本年十月十六日(日)に奄美文化センター大ホールで開催いたします。二〇二二年開催に向けて、二〇二〇年から準備をし、この間コロナウイルスの蔓延で二〇二一開催断念は痛恨の思いでありました。今回こそ実現できますよう念じております。

*実行委員会の設立

二〇二一開催に向けて実行委員会を立ち上げ、出演団体に募集をかけ本番待ちの段階でコロナ禍中止。二〇二二開催に向けて本年二月に再度新たな人選を得て委員会設立に至りました。県文化協会役員、大島地区各市町村文化協会会長全員の参加を頂き総勢十八名で構成しました。

本年二月の第一回実行委員会はコロナにより書面開催でした。五月開催の第二回目はオンラインによる決議となり実施計画や予算案など承認しました。

私を実行委員長として、フェスタの開催を皆様のご協力を頂きながら成功に向け準備していきます。

*運営委員会の設立

実行委員会の構成は県本土、各離島の委員から成り、コロナ禍の中、会議招集や連絡周知など諸準備に時間を費やし迅速性に欠ける面があります。

実行委員会事務局の下、奄美市教育委員会と奄美市文化協会の役員を中心に「フェスタ in あまみ運営委員会」を設立いたしました。舞台部門、展示部門の諸準備、広告募集、広報活動、チケット販売、コロナ対策等々諸問題に取り組み実行委員会の実動部隊として活動します。

*舞台発表出演団体への出演依頼活動

奄美大島は最南端の与論島から奄美本島まで八つの島々から成ります。各市町村へ、島特有の郷土伝統芸能をと懇願いたしました。沖永良部島二町、徳之島二町、瀬戸内町加計呂麻島諸鈍そして奄美本島内の各市町村から即出演快諾が得られたことに喜びを感じ、このフェスタは大成功すると確信したものです。

また心配事もありました。各島々からの出演となりますと二泊三日の日程が必要で出演旅費補助と宿泊施設の確保です。旅費額も満額補助ではなく不足分は各出演団体持出しであります。

快諾頂いた出演団体並びに、県文化協会・出演市町村のご援助に感謝申し上げます。

*「文化フェスタinあまみ2022」を開催するにあたって

今回出演演目を郷土伝統芸能に特定したのは、二〇二二年七月に奄美大島・徳之島が世界自然遺産に登録されたことに起因し、県民はじめ大島群島島民全員で祝福する祭典にしたいとの思いからです。

奄美大島の伝統芸能は、いにしへの太古から自然と共存し、日常生活や暮らしの中から育まれてきました。しま口、しま唄、踊り等々色々ある中から、奄美を表現するには代表的な郷土芸能を発表したいとの思いから計画した次第です。

「世界へはばたけ 奄美の文化」として各島々に伝承されている郷土芸能を一堂に演じます。まさに日常の生活・暮らしの中から延々と育まれてきた各地区、各集落の素朴な生活感あふれる伝統芸能を全世界へ発信できる機会を与えて頂きありがたいことです。各出演団体も誇りに感じ日々練習を頑張っていますので、本番でお会いできますことをうれしく思っております。

*出演団体の演目は

奄美の郷土伝統芸能は、毎年度各島々の集落ごとに、各節々に演じられています。

例えば新年会・敬老会・豊年祭・五穀豊穰祭り・文化祭・体育祭・各家々の祝い事等々、各節々に実演されることが特徴です。それが途絶えることなく永い歴史として培われています。

今回出演いただく各市町村の演目をご紹介します。

- 一 瀬戸内町 国指定重要無形民俗文化財 「諸鈍シバヤ」十四名
- 二 知名町 県指定無形民俗文化財 「正名ヤッコ踊り」二十名
- 三 市町村指定無形民俗文化財 「徳之島町 「亀津浜踊り」三十名

- ・ 伊仙町 「西伊仙東棒踊り」十五名
 - ・ 宇検村 「芦検稲すり踊り」二十二名
 - ・ 奄美市住用町 「西仲間ソオ踊り」二十五名
- 四 指定外文化財

- ・ 和泊町 畦布字の組踊「高平良(万才)」二十名
- ・ 大和村 「大和浜棒踊り」十六名
- ・ 奄美市名瀬 「六調太鼓」三十名
- ・ 奄美市笠利町 「大笠利わらぶえ島唄クラブ」二十九名

計十演目が出演者総数二二一名によって披露されます。これだけの各演目が一堂に演じられることは史上初めてで、奄美大島の歴史文化に触れる絶好の機会ですし画期的なことです。

(各演目の紹介は「文化かごしま二二一号」で歴史や特徴などについて掲載されております。)

*おわりに

「県民文化フェスタinあまみ2022」を開催するにあたり、沢山のマスコミ関係者、民間団体、各関係機関からご援助とご協力を頂きました。誠にありがたく心より感謝御礼を申し上げます。

開催時にはコロナウイルスも感染も改善され会場も満席で熱気に溢れることでしょう。文化芸術活動の発表と交流を通じて心豊かな奄美文化の振興と伝承、活性化を図り「文化の薫る島・あまみ」を創造し奄美文化の灯を消さぬようこれからも奮闘してまいります。

「県民文化フェスタinあまみ2022」が諸々の困難を乗り越え開催できますよう、県民の期待にこたえるべく万全の対策をいたしますので、皆様方のご来訪を心よりお待ち申し上げます。

(チラシの中に関係者、団体名が掲載されていますのでご参照ください。)

世界自然遺産登録記念

県民文化フェスタ

in あまみ 2022

2022年10月16日(日)

舞台部門 開場 13:30

(観覧料 1000円) 開演 14:00~18:00

展示部門 10:00~18:00

(入場無料)



舞台部門：奄美文化センターホール

- 奄美市笠利・・・大笠利わらぶえ島唄
- 奄美市名瀬・・・奄美六調太鼓
- 奄美市住用・・・西仲間「ソオ踊り」
- 大和村・・・大和浜棒踊り
- 宇検村・・・芦検稲すり踊り
- 瀬戸内町・・・諸鈍シバヤ
- 徳之島町・・・亀津浜踊り
- 伊仙町・・・西伊仙東棒踊り
- 和泊町・・・哇布・組踊「高平良万才」
- 知名町・・・正名ヤッコ踊り

展示部門：奄美文化センターホワイエ

- 絵画
- 書道
- 写真
- 工芸
- 盆栽
- その他

主催：鹿児島県文化協会、県民文化フェスタinあまみ2022実行委員会
 共催：鹿児島県、(公財)鹿児島県文化振興財団
 協賛：(公財)九州文化協会、大島地区文化協会連絡協議会
 後援：奄美市、奄美市教育委員会、大和村教育委員会、宇検村教育委員会
 (予定) 瀬戸内町教育委員会、龍郷町教育委員会、喜界町教育委員会、徳之島町教育委員会
 天城町教育委員会、伊仙町教育委員会、和泊町教育委員会、知名町教育委員会
 与論町教育委員会、南日本新聞社、朝日新聞社、南海日日新聞社、奄美新聞社
 NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送
 KYT鹿児島読売テレビ、アママテレビ、エフエム鹿児島、アママFMティ！ウェイブ

お問い合わせ：県民文化フェスタinあまみ2022実行委員会事務局 TEL 090-4488-3206(焼賢義)

大笠利わらぶえ鳥唄クラブ

奄美市笠利文化協会

うがみんしょうら。私達は奄美市笠利町笠利の「大笠利わらぶえ鳥唄クラブ」です。現在、小学生20名と中学生9名の計29名が在籍し、クラブ生に加え、保護者会、講師会で成り立っています。

奄美の伝統文化「鳥唄」と「八月踊り」を伝承する為、昭和58年から週1回、2時間の練習を続けて、今年で39年の伝統あるクラブです。

同クラブは、鳥唄を唄えるようになることだけが目的ではありません。日々の暮らしから生まれた「鳥唄」。少しでも先人たちの想いに触れる為、地元の史跡巡り、ソテツの実を使った「なり粥」作りなどの体験学習の他、敬老会への慰問、種下ろし等で地元の方との交流を深めています。

年度末には1年間の集大成として「定期発表会」を開催し、個人唄、ぼれ唄、子守り唄、手まり唄、手遊び



唄、八月踊り、六調などを披露します。子守り唄と手話のコラボ、手まり唄はリズムに合わせてボールをついたり、様々な工夫もしています。

来年は創立40周年。クラブ生、保護者会、講師会が一丸となり、伝統文化である「鳥唄」を伝え残していきたいと思えます。

奄美市名瀬文化協会の紹介

奄美市文化協会会長 境賢勇

奄美市名瀬文化協会は前身の旧名瀬市文化協会として昭和48年に発足。

当時15団体412名でした(令和4年7月現在71団体900余名)。令和5年には50周年を迎えます。

平成18年、平成の大合併により旧名瀬市、旧住用村、旧笠利町が合併し「奄美市」が誕生。3市町村の文化協会も合併し「奄美市文化協会」として発足。

奄美市文化協会傘下の下「奄美市名瀬文化協会」「奄美市住用文化協会」「奄美市笠利文化協会」として、それぞれが各地域に根差した文化活動を展開しています。

名瀬文化協会の活動は主に市民文化祭、奄美市美展などで中心的役割を担っています。

令和2年、3年はコロナ蔓延で諸々の文化活動が制約され中止の状況です。

令和4年10月開催の第44回市民文化祭は「世界自然遺産登録記念」として準備を進めています(令和元年

第43回市民文化祭は・舞台部門58団体が出演3日3晩、展示部門は幼児から一般の作品、10日間展示)

本年10月16日開催の「県民文化フェスタinあまみ2022」は奄美市名瀬文化協会が中心的な役割を担い成功へ向けて会員一同頑張っています。写真は令和元年に開催された文化祭の状況です(3点)



住用町「西仲間竿踊り伝承会」

奄美市住用文化協会

奄美市住用文化協会は住用町各集落における伝統行事の保存・継承、地域文化の振興を目的として結成されました。当協会は、各集落の伝統行事保存会や、町内の文化団体で構成されており、毎年十二月に開催する「すみようふれあいフェア」での舞台発表や集落内での伝統芸能継承活動等を主に行っています。

今年十月に開催される「県民文化フェスタinあまみ」では、当協会から「西仲間竿踊り伝承会」が出演いたします。

西仲間竿踊り(ソオ踊り)は約二百年前から西仲間集落に伝わる伝統芸能です。旧暦八月十五日に行われる十五夜行事で、一年間の五穀豊穰・無病息災を祈願し、「悪綱引き」「八月踊り」に続いて奉納されます。この踊りは稲作の田植えから脱穀までの一連を二本の竿を使って表現しており、クライマックスに向け

て掛け声とともに竿を大きく回しながら踊る姿は壮観です。踊りの力強さ、伝統芸能の美しさを感じていただければ幸いです。



大和村「大和浜棒踊り保存会」

大和村文化協会代表 中井 良一

大和浜の棒踊りは、明治三十五年頃大和浜の士族井原甚四郎翁によって創始された、勇壮果敢な踊りです。

以来、毎年行われる豊年祈願祭で披露され、祭り最大の呼びものとして、集落の若者によって継承されてきました。

踊りの芸能は、一・二・三部で構成され、第一部は六尺棒同士でおどります。第二部は、六尺棒と三尺棒に持ち替えて踊ります。第三部は、鎌とナギナタが速いスピードでかち合い、火花を散らします。踊りというより武術の型の実演といった方が適當ではないかと思う、勇壮そのものの踊りです。踊りは四人一組で行い、踊り唄の歌詞は「君が代」「霧島」「白帆」の三曲で組み立てられています。



宇検村「芦検稲すり踊り」

宇検村文化協会

宇検村文化協会からは、芦検民謡保存会が「県民文化フェスタ in あまみ」へ出場します。

芦検民謡保存会は、宇検村芦検集落の方々に構成されており、集落の豊年祭や村文化祭、沖縄県におけるアジア民族芸能祭にも出演しているほか、NHK総合テレビにて紹介されるなど様々な活動を行っています。

今回披露します「芦検稲すり踊り」はこの芦検民謡保存会により維持保存、青少年へ伝承されており、昭和五十七年に村無形文化財に指定されました。

昭和十三年に皇室に献上する米を作る田に芦検集落が指定された際、御田植え祭にて奉納されたのが始まりです。もともと唄われていた「稲すり節」と沖縄の「汗水節」を織り交ぜて作られ、踊りは、沖縄調にアレンジ創作されました。米の収穫後の脱穀、精米などの様子が振り付けに表されてい



ます。当時を再現した衣装や道具を使用し、農作業の模様をリズムミカルに表現していますので、ぜひご注目ください。

瀬戸内町「諸鈍シバヤ」

瀬戸内町文化協会

諸鈍シバヤは、加計呂麻島の諸鈍に伝わる民俗芸能である。毎年、旧暦九月九日に集落の大屯（おおちよん）神社境内で、手踊りや人形劇など十一演目からなる個性的な演目が披露される。真偽は定かでないが、島に落ちのびてきた平資森（たいらのすけも）りが土地の人々と交流するなかで伝えて来たといわれもある。

この芸能に関わる成員を「シバヤニシジョウ（芝居人衆）」という。すべて男性で、踊手と「リユウテ」とよぶ囃子や曲を奏する役割から成る。踊手は顔

に「カビテイラ」とよぶ紙製の仮面をつける。かつては諸鈍を流れる川底の粘土を固めて型をつくり、半紙などを重ねて乾燥させたものにハイビスカスやカタバミなどの植物で色を付けていた。

各演目が「サーテンテンテン、ナーシイトウルウトウテン」という囃子言葉リズムに合わせ、右手右足、左手左足を前に出して進む入退場の様子が特徴的である。昭和五十一年、国指定重要無形民俗文化財。



途絶えさせることなく継承していく文化

龍郷町文化協会

コロナ禍において、龍郷町文化協会も思うような活動ができない状況ですが、そんな中でも集落の伝統文化を継承している本会員の秋名平瀬マンカイ保存会の活動の様子をご紹介します。

奄美大島では、旧暦八月初めの丙（ひのえ）の日を「アラセツ（新節）」と呼びます。私たちの住む秋名・幾里集落では、アラセツの日の早朝、山の中腹に建てた片屋根に男衆が上り豊作を願う「シヨチョガマ」と、夕刻に海岸の二つの岩の上で行う「平瀬マンカイ」があります。

この祭りは、今から四五〇年前より集落の人々に伝承されてきた行事です。戦中戦後は途絶えていましたが、昭和三十五年「秋名平瀬マンカイ保



写真1: 本来のシヨチョガマの様子



写真2: (左)山の中腹で収穫への感謝と豊作の祈り、コロナ終息を込めて祝詞をささげる保存会の窪田会長。(右)祝詞をささげるために作られた祭壇。



写真3: 海のかなたの神々に五穀豊穡を祈る平瀬マンカイ

存会」が設立され、昭和六十年には、国の『指定重要無形民俗文化財』に指定されました。

秋名平瀬マンカイ保存会が設立されてから、一度も中止にしたことがない行事ですが、新型コロナウィルスの影響を受け、昨年に続き「平瀬マンカイ」の観客は集落の住民のみに制限することになりました。また、明け方に行う「シヨチョガマ」は、多くの人が屋根の上に密集するため余儀なく中止となりました。しかし、令和三年は集落の方々の要望もあり、祝詞をささげる祭事は執り行うことができました。これも遠く未来から見れば歴史の一つ。これからも途絶えさせることなく継承していきたいと思えます。

喜界島ウインドアンサンブル

喜界町文化協会

喜界島ウインドアンサンブルは

平成二四年八月に発足し今年で結成十年を迎えました。毎週日曜十七時、中央公民館で子供から大人まで十六人のメンバーが練習しております。未経験でも小さなお子様でも、やりたい気持ちさえあれば誰でも入団可能です。楽器が無い方も、フルートからチューバまで貸出できます。入団されずとも、楽器体験のみの方や、旅行がてらちょっと見学の方もいつでも大歓迎です。日曜の夕方は喜界町中央公民館でお待ちしております。ここ数年のコロナ禍で、近年は年二回、三月と八月に身内のみ見学可の小規模なコンサートを実施しています。三月は転出される方の見送り、八月は帰省した元メンバーと合奏するのを主目的にコンサートを行っています。早くコロナが去って、例年どおり一月にニューイヤークンサートができる

ようになることを願っています。



「亀津浜踊り保存会」

徳之島町文化協会

亀津浜踊り保存会(会長 新田 武男 会員63名)は、毎月第1、第3水曜日に南区会館(徳之島町亀津)で練習をしています。主な活動として、島内のイベント(町文化祭、三町民謡大会)や島外イベント(平成28年 関西奄美会百周年記念式典 平成30年 奄美パークシマジマ祭り)へ参加しています。

亀津浜踊りは、男と女の円陣による掛け合い唄を唄いながら踊り、最初はゆっくりと元歌(打ち出し唄)を唄い、24番まである歌詞を奇数は男が、偶数を女が唄い踊ります。そしてテンポが速くなっていき、踊りの速さがクライマックスに達した時に終了する踊りです。

新型コロナウイルスの影響により、各種行事が中止となり、発表する場が減っている現状にあり、練習に参加するメンバーも減少していますが、今回久しぶりの大舞台(県民

文化フェスタ)で、会員のモチベーションも向上しています。10月16日の公演日には、最高のパフォーマンスをしますので、是非奄美文化センターへお越し下さい。



結シアター手舞

天城町文化協会

結シアター手舞は「第三十回国民文化祭かごしま2015」の開催を機に、中高生を中心に「島口ミュージカル」を公開することを目的に結成された。ミュージカルの内容は西郷隆盛が徳之島で生活した実話を元に、島唄や伝統芸能・闘牛などを盛り込み脚本化したものである。子供達はプロにも劣らぬ演技と躍動感あふれるダンスを披露し、会場は笑いと涙に溢れ観客を魅了した。子供達も満足感いっぱい最終演じることができた。そして、「国文祭だけで終わらせたくない。続けていきたい」という中高生の熱と想いに共感した青年団や保護者が中心となり現在の活動をサポートしている。結成5年目には沖縄・奄美公演を開催した。

一昨年から新型コロナウイルス感染症の影響により、幾度となく活動自粛や公演中止を余儀なくされたが、子供達は「いつか必ず公演できる!」「コロナなんか負けてたまるか!」という

強い思いを胸に稽古に励んでいる。



西伊仙東集落「棒踊り」

伊仙町文化協会

古来より青竹を打ち合うことは、豊作祈願そして地域と家内繁栄・無病息災さらに心身の鍛練を意味しています。令和元年に町文化財に指定された、西伊仙東集落に伝わる棒踊りは、同集落出身者である故吉見福静氏が明治期、陸軍歩兵第45連隊に従軍中に習得し、帰島した昭和2年頃に集落民に教えられたのが始まりとされています。踊り手8人のほか指揮者・歌い手・太鼓担当で構成。演舞が進むにつれ型が増え、動作も速くなるのが特徴です。戦中は途絶えたが戦後に再興。伝統文化継承活動の一環として小学校運動会や各種慶事でも披露しています。青少年健全育成もあわせ、保存会の会員は小学生から高齢者まで約1000人。力強く竹を打ち合うその姿は勇敢であり、躍動感と迫力あふれる棒踊りです。コロナ禍で会員全員

が集う機会が減りましたが、「県民文化フェスタ」の出演を好機とらえ、コロナ前のような集落の和を再構築していきたいと考えています。



西伊仙東集落棒踊り保存会による演舞

あせふあざ くみおどり たかてーら まんざい 畦布字の組踊「高平良(万才)」

和泊町文化協会

私たち、畦布字伝承芸能保存会は先人たちが守り受け継いできた貴重な伝統芸能を畦布字の誇りとして次世代へ継承していきます。今回は、約61年ぶりに復活させた組踊「高平良万才」を披露させていただきます。父親を高平良御鎖に闇討ちされた兄弟が仇討ちを果たす沖縄県の組踊「万歳敵討」は、琉球王国の芸能に日本一の能・狂言等を取り入れて創作された歌舞劇で、2010年にユネスコ(国連教育科学文化機関)の無形文化遺産に登録されています。

畦布字の組踊「高平良(万才)」は沖縄の組踊をアレンジしたものであり、演出が微妙に異なるが、せりふは首里の古い言葉が使われている。2019年に畦布字の中村スエ氏の記憶を基に沖縄県立芸術大学の講師等の協力により、60年ぶりに復活上演した。

鹿児島県内では畦布字のみが唯一伝承してきた伝統芸能であり、万才口説に乗せて踊る字の伝統芸能「棒万才」や兄弟のお供をする京太郎が登場するなどの特色が見られる。



組踊①



組踊②

三年ぶりの『五月の祭典』開催！

知名町文化協会

知名町文化協会では、現在二十七団体、約五〇〇名の会員が活動していますが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの団体が思うように活動できない状況でした。

低迷する文化活動の活性化を目指し、感染症が落ちついた五月二十八日、青年部主催の『五月の祭典』を三年ぶりに開催しました。

今回で二十回目の節目となる『五月の祭典』。手指消毒や座席の制限等の感染対策をとっての開催となりましたが、来場くださった満員のお客様の前で、全十五団体が発表を行い、会場入口では、加盟団体である写真会による記念写真展を開催しました。また、新たな試みとして協会YouTube



ブチャンネルを開設しライブ配信を行うなど二十回の節目に相応しいイベントとなりました。多くの行動が制限され様々なストレスを抱える島の人々を、文化の力で元気を与えるイベントとなり、町の文化活動再開のきっかけとなりました。オンライン配信を有効活用し、加盟団体の活動意欲の向上と島の文化の魅力をたくさんの人へ発信するきっかけになるよう継続していきたいと思えます。

コロナ禍に負けず、文化の継承・発展を目指して

与論町文化協会

与論町文化協会では、過去二年間のコロナ禍により、主たる発表や展示の機会が得られず、会員の活動気運への影響が懸念されていきました。

しかしながら、今年の総会では行事への積極的な参加意欲が見られ、

会員同士が励ましあい、共に活動を続けることを再確認しました。更に一団体の新規加入という明るいニュースもありました。

今年も、過去二年間開催できなかった町文化祭や大島地区広域文化祭にも積極的に参加し、各種総会、

研修会へも積極的な参加を図ります。

感染症対策についても、会員の感染拡大防止への意識向上に努め、健康で安全な文化活動の推進を図ります。

本協会の活動は、町民の文化活動への学習意欲により支えられています。今後とも継続的な学習と発表の場の提供に努め、学びを止めないことを意識して、継続的・発展的な活動を行います。



「あのとときの風景を

思い浮かべながら」

奄美の唄者

西和美にし かずみさん

聞き手 渡陽子さん（あまみエフエム）



渡 今日、唄者の西和美さんをスタジオにお迎えしました。うがみんしよーらん。

西 うがみんしよーらん。こんにちはね。

渡 和美姉、自己紹介をお願いします。

西 昭和一七年ですね。三月二日生まれ、ただいま八〇

歳でございます。尼崎で生まれたんです。父が戦争に行っ
たんで、ほんで、西古見に帰ってきた。

渡 小さい頃から鳥唄してましたか？

西 縁がなくてね。でもね、ばあちゃんがナリの実を半分に
割って箸でピンピン取って乾かすの、庭先で。ばあちゃ
んはいつも「ぎゅうワーカーなあ」って唄う。『行きゅん
な加那』なのね。そのメロディーが頭にあった。

渡 幼な心。で、戦後の食糧難の時代。島の人達はソテツを。

西 実を乾燥させてね、味噌を作ったりね。

渡 私達はソテツのナリ粥とか食べたことないんですけど
も。

西 ソテツのシンガイン、よっぽど毒素を取らないかんから。
ソテツの芯を取って、デンプンにして。

渡 作業の中で、ばあちゃんの『行きゅんにや加那』を覚え
てる。

西 少しね、何なんだろうって思いながらね。

渡 集落の中で、唄遊びとかを見たことがありましたか？

西 その頃は、結婚式とかで酔っ払ったおじちゃんが、今み
たいな立派な三味線じゃなくて紙を貼ったりして、缶にね。
メロディだけポンポンしながら歌うおじちゃんは、何
名かおった。

渡 とっても貴重なお話。物資不足でも工夫して三味線を
作ってたんですね。『くるだんど』とか知ってたんですか。

西 その頃は全然知らない。でも、好きは好きやった。結婚
式のおきはお母さんなんか呼ばれて行くでしょ。

渡 おうちでの結婚式なんです、昔は。

西 テント横から顔出してね、母親はね、「帰れ、美味しい
もの持って帰るから」と言う。私がちそうを食べに来た
と思ってる。

渡 唄を聞きに行きたいの？

西 そういうときの唄が好きだった。

世の中は、
これからますます変わっていく…
だから、
未来のこととかもっと話そうよ、
いっしょに。



Friends

with you

南日本銀行

◎ **渡** そこから和美姉は名瀬へ出てこられるんですか。

◎ **西** 西古見は小学3年まで。そこから口之島に行った。昭和二十七年。

◎ **渡** まだ、奄美群島の日本復帰前ですね。

◎ **西** ほんで密航で行った。船底に牛積んで船底に座って寝かされて。

◎ **渡** 口之島で何年過ごしたんですか。

◎ **西** 中学卒業するまで。もうすごい貧乏生活。外トイレで、板を二枚ひいてポットトイレね。子どもながらに怖かったよ。

◎ **渡** そういった生活もあって、中学校を出ました。その後は？

◎ **西** 集団就職で愛知の一之宮で機械織り。一四歳で就職。金の卵。

◎ **渡** 一四歳で。みんな集団就職する時代だったわけですかね。

◎ **西** 二歳上の人からあった。だけど、貧乏のあるつきりやっだから、この貧乏生活から離れるのはもう最高潮で嬉しかった。

◎ **渡** 機械織りはすぐにマスターはできたんですか？

◎ **西** いやいや、二mぐらいの機械撚りだから最初は糸結び。先輩達に血が出るまでつままれてね。「なんでできないの」ってね。

◎ **渡** ホームシックとか、島を思い出したりとかありませんでしたか。

◎ **西** あまりなかった。みんな離島から出てきてるからね。

◎ **渡** 「自分は奄美大島から来たのよ」って話したことありましたか？

◎ **西** あるある。だけど、うちの友達は「鹿児島」って言った。

「なんで、あなたは徳之島だがね」って言ったたら「徳之島ってどこ」って友達が言うからですよっつって、絶対言わなかったね。

◎ **渡** 最近、みんなどんどん「奄美大島出身」って言いますけど。

◎ **西** 私はもう西古見でカツオ漁船の魚の味を知ってるからさ。自慢して、「こんな島ですよ、船で行くんだけど」って言うてね。

◎ **渡** 「何時間もかかるんだけど」って言うてね。このときはまだ島唄とは出会ってないんですね。

◎ **西** 全然。そこで二・三歳まで仕事した。たまたま私の両親が大阪に来とって。正月に帰ったときに無理やり結婚させられた。

◎ **渡** 同窓生と結婚したわけですね。島唄と出会うのは？

◎ **西** 尼崎の家に引越して、そこに竹原由和子さん、森チエさん、同じぐらいの歳の唄者のおばあちゃんが遊びに来よったの。「島唄の教室やってるからいっぺん来てごらん」って言う。「あんたの喋る声低い。その声、なんか魅力的だから。」って。「嫌です」って言った。けど、おばあちゃん達しつこいの。

◎ **渡** 才能と思ったんでしょうね。

◎ **西** 分かんけどね。あんまりしつこいから娘連れて行っただんです。その時『行きゅんにゃ加那』やって、「えっ、これ聞いたこと」あるわ。このメロディーと思って。

◎ **渡** おばあちゃんがソテツのナリを割るときに歌ってた。

◎ **西** メロディーが頭の中に残ってて、それからのめり込んでいった。



第4会 燃える情熱・・・ カンツオーネ コンサート

(曲目)

カタリ カタリ / 愛の花咲くとき / ひまわり
アダージョ / 黒い瞳に青い空 / 忘れな草 ... 他

主催：Kagoshima カンツオーネ協会

2022 12/3 (土)

サンエールかごしま
2階講堂

開演 / 18:00 (開場 / 17:30)

入場料：一般 2,000円

大学生以下 1,000円

全自由席

渡 のめり込んで、もう、本当に鳥唄を知っていく。

西 竹原由和子さんが徹底的に発声の訓練。六甲山に連れて行って。

渡 六甲山！神戸の！

西 「朝花」が歌えればみんな歌える。「朝花」だけはマスターしなさい。自分が歌うから、後ろから歌えと。「自分の声を殺す」ぐらいの声を出しなさいと。

渡 大きい声でつてことですか。

西 うん。迫力ある声だった。ひわこさんはまだ五〇歳くらいやね。

渡 やっぱり何か感じて、この人に鳥唄を教えないと思うことがあったんでしょか。

西 「縄跳び、三〇〇回しなさい」とか。「何で、こんなことせんばいかんのよ」って思うぐらい。

渡 偉大なる唄者かずみ姉も、縄跳び三〇〇回してらっしゃった。

西 してたよ毎日。週二回は六甲山に連れて行かれて叫んで、家に帰って喉に何かこう詰まってるって、血の塊を吐いたり。

渡 すごい猛特訓だったんですね。そして、いろんな歌い方を知る。鳥唄の歴史とか背景とか成り立ちも知っていくんですね。

西 「この歌はこんな歌だよ」とか、たくさんでは無かったけど『朝花』から『よいすら節』『くるだんど節』って教えてもらう。

渡 それまでまだ踏み込んでなかった鳥唄の世界、どうでしたか。

西 その頃は盛んだったよ。大阪でも尼崎でも鳥唄保存会があった。でもまだ『よいすら節』と『行きゅんにゃ加那』

ぐらいしか歌えない。そうしてうち、「そこまでやるのであれば、お前奄美大島に帰れ」と、尼崎で中華料理をやっている方に言われた。「自分がみんな、引っ越しする金も家も借りる金も出すから」って。築地俊三さんが民謡日本一、坪山豊さんが民謡大賞を貰った年だった。

渡 やっぱりかずみ姉に「島でやった方がいいよ」ちゅう。

西 それがね、坪山さんが三階建てのビルを作ったばかりで、「二階で唄の教室やるから、あんた、一階で商売せんね」ってその方が誘われてたみたい。「手打ちうどん始めるから」って。

渡 そして、かずみ姉がそのお店を任せられると。

西 飯店長になってね。奄美であればいいんじゃないって、家族全員で引っ越してきたのよ。今考えたら恐ろしいことしとるん。

渡 すごいことですね。今でこそ行き来が簡単ですけど。

西 もう、船だもん。ほんでコンテナが二つ。

渡 やっぱ島に行って鳥唄をやってみたってのはありましたか？

西 嫁に入った家に、鳥唄のレコードがいっぱいあったんですね。私の声は誰に合うかってレコードを流して歌ってみたら、一番合ったのが坪山豊さんの声だったの。「このおじさんだったら、何かいい唄歌えるな」って思ってた帰って来たんです。

渡 しかもまたね、ビルで毎日顔を合わせるわけですもんね。西 毎日追っかけて練習してもらって。二階は教室するっ



上園食品株式会社

各種漬物製造工場

上園の五大製品

麦みそ漬 おおつ味 かじりかむ
わおわか な 梅かんし

〒899-5102 鹿児島県霧島市隼人町真孝字松山3344-1

TEL (0995) 42-6969

FAX (0995) 43-1160

ちゆうけどなかなかしない。もう勿体ない。で、私の練習場所でした。

渡 坪山さんはどうでしたか。そういうときはレクチャーとか？

西 最近は人気者になって忙しいけど、あの頃は暇だったのよ。だからあれ、船大工から帰って来たたら、窓際に見て、「ご飯食べた頃をお願いします」って二階で練習。今度は、坪山さんの発声。ろうそくを三〇cm離して置いて、「これが動かないように歌ってごらん」とか。

渡 炎が動かないように？

西 メトロノームを置いてリズムの特訓したり。「お腹をぎゅわーっと締めて、腹を閉めて歌え」って、そこから声を出す練習。

渡 着物を付けるからですかね。

西 いや、「どっから声を出していいのかがまだ分からんから、腹を締めて力を入れたら腹式呼吸になる」って練習。もう二時間位歌いっぱなし。

渡 ええっ本当。こう、何ですかね。特訓というか、本当に鳥唄を練習していかれるんですね、歌う方々っていうのは。

西 坪山さんの言い方は、「唄を好きになれ。唄の歌詞とともに自分の好きなメロディーを選んだら、歌に入りやすいよ」って。

渡 先人の曲で、心に思い浮かんだのってあったんですか？

西 『俊良主』で、「金はいくらでも稼げばできるけど、両親はなくなったらこんな寂しいものはない」という歌詞があるんですよ。バーンときてね、もうそればかり。

渡 歌詞の言葉も深く入って、心からの鳥唄を歌えるわけ

すね。

西 その頃は宇検村から来たりして、頼母子講が月に二回くらいあって、講をすると、そろそろ、おばちゃんたちの盛んな歌。

渡 生活の歌的な感じですかね。

西 あの頃はね。おばあちゃんたちの歌を聞いたたら、やっぱり習いたてだから、何でも覚えたいと思えましたよ。そうね、私の時代はよかったよ。だって今、掛け唄する人はみんな亡くなったでしょ。誰かやれる人出てくれば、挑戦したいと思う。

渡 若手の皆さんも、かずみ姉との共演を願っていると聞きますよ。

西 そうね一年に二・三回、うちの店貸し切ってやりよった。

渡 若手にも、掛け唄の楽しみを経験していただきたいですよ。奄美に帰っているんな大会があったと思うんですけど。奄美民謡大賞を受賞したのは、何歳のときでしたか。

西 三九歳か四〇歳だったかなって思うんだけど。

渡 毎回大会に出てらっしゃったんですか？

西 大賞は三回目。一回目は奨励賞もらって、次は新人賞もらって、それから民謡大賞。名瀬小の新しい体育館で。鳥唄が人気あったね。体育館はいつぱいで外に立ってまで聞いとったんで。

渡 画像とか見ると、皆さんテープレコーダーで録音を。

西 舞台の前からね、録音しながら。

渡 持ち帰って、おうちでも聞いてらっしゃったんでしょうね。民謡大賞のときの思い出を聞いてもいいですか。

西 もう『雨ぐるみ』をいやって言うほど歌わせられて。歌

夢・快適・文化提案



総合建設コンサルタント

大福コンサルタント 株式会社

本社：鹿児島市東郡元町 17 番 15 号

TEL：099-251-7075 FAX：099-256-8534



詞がね、「管鈍の向こうに雨が降ってるけど、あれは愛しい人への涙で」すよって意味のラブソングなんだけど、何となく胸に来ないの。ほんで西古見に走って。ちょうど五月の梅雨の頃。カセットを西古味が一番奥の棧橋で鳴らして、うわーっと練習するんですよ。そしたら本当に、前、向こうからも真っ白に雨が降ってきた。「これだ」と思ってた。あるがね、あの島の雨は。向こうから向こうから、迫ってくるから、あれは今でも頭にある。

渡 じゃ、これが『雨ぐるみ』だって、

西 「これだ」って思いながら濡れながら歌ったもん。あれは感動でしたね。だから、その風景が頭に浮かんでこなければ、「今日は駄目だな」と自分は考えるようになった。

渡 様々なところで注目を浴びて、海外遠征にも行かれるんですね。

西 小島富子先生が、「奄美民謡を推薦せんないかん」って、海外遠征は坪山さんと築地さんに決まっとったね。その相方に誰を選ぶのか。サンプラザホテルの横に「あまねや」があつて一〇人位の女の唄者が呼ばれて、坪山さんと築地さんが三味線弾いて、みんな「唄遊びか」って喜んで歌って、最後にその話が・・・。

渡 「一緒に海外に行ってください」って試験だったわけですね。

西 七月に行くのに、前の年の一〇月に私に決まった。

渡 前もって準備が進んでたんですね。海外はどこに？

西 ワシントンのスミソニアンっていう自然公園かな。そこで一ヶ月。うん、六月の中頃に行つて七月の半ば頃に帰ってきた。

渡 どうでしたか、アメリカ生活は？

西 面白いね、毎晩パーティー。偉い人たちのするところに行つてね。私はお酒飲めるからビールをじゃんじゃん飲んで、坪山さんと築地さんは夜食をめぐけて行くわけ。朝はレタスとか何とかのバイキング。坪山さんが「馬じゃあるまいし」ってさんざん文句言つてた。肉とか無いんだもんね。もう本当に、草よ。

渡 子ども達はひと月の間、留守番？

西 留守番させて。おばあちゃんおじいちゃんがおつたからよかつたよね。あつちこつちでショーやって、またここでもショーやったがね。東京でもショーやって、無形文化財の人たちが各県から選ばれて、四〇何名行くんですよ。踊りとか、染めの技術の人とか、竹細工とか、焼き物とか。

渡 まさしく日本の文化が集まってる。

西 うちらは島唄の唄者として、もう一件は秋田民謡の二人。

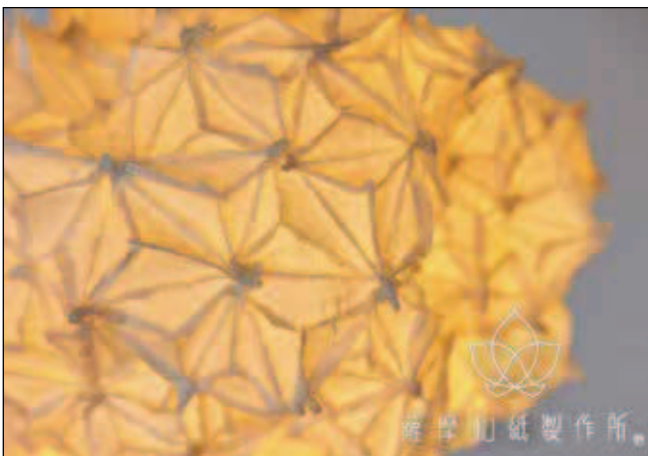
渡 当時から多様性があつて、日本文化を紹介するすごい大プロジェクトだったってことが分かりますよね。

西 小物とかね、みんな自分たちの懐から出して買って行った。で、向こうのボランティアの人たちにあげたりして喜んでもらった。それから、築地さんが三味線をプレゼントすることになった。

渡 それも、手出しで？

西 いや、自分の持つてるものを置いて行くっていう約束だった。そしたら「和美、わんがまた買ってやるから太鼓をやれ。」って。だからスミソニアン博物館には「西和美」の太鼓がある。

渡 今もスミソニアンに、かずみ姉のチジンを飾ってあるん



日本の伝統食文化を
守り続けて110年

開闢岳

明治45年創業

久(株) 中園久太郎商店

〒891-0514 鹿児島県指宿市山川大山860-2
TEL : 0993-34-1180 FAX : 0993-27-6015

漬物レシビ
総賛会中ノ

ですね。島唄を世界にも発信してる。本当に素敵だなと思
いました。

西 今は才能のある若い子がいっぱいいるから、私の番は来
ないよ。

渡 いやいや。それにいろんな唄者との交流があったでし
うね。

西 私ね、もう何かに書いてくればよかったな。山田武和さ
んのお父さんとか安中さんも来てたよ。それに竹村さん、
うん。あれなんかもう遊んだり。龍郷からはいっぱい来ま
したね。名前忘れたな。その頃は遊ぶ仲間がいっぱいね。
この写真屋のおじちゃんも、こないだ亡くなったのね。本
通りのほら、松浦写真館。三味線と歌も上手だったのよ。

渡 人が、唄者が集まれば、うどん屋で歌が始まるんですね。

西 阿世知幸雄さんとか築地さんとか毎日来るから、「お前
ら、商売してるのか、歌うの遊びしてるのか」って怒られ
ちゃった。

渡 そして、かずみ姉。この島唄についてですけども、島唄
の歴史は、やっぱり大昔から歌われてたんでしょね。

西 だと思いません。私が考えているのは、こうやって口づて
口づたえでね教えたんじゃないかなあって。昔はカセット
とか無いでしょ。字の書けない人も多かったからね。

渡 でも、そんな中で生まれてくるいろんな歌詞を覚えて歌っ
たり、それがずっと続いているってすごいことですよ。

西 天才って思わない？、学力も何もないのにこうした歌詞
を目の前で作るってね。見てるものをポンポン作って、そ
れが意味合いがあるんだもんさ。

渡 島の生活を歌う。奄美大島、奄美郡島のいい所ですね。

西 「二人が仲良しの頃はとつてもかわいかった。別れて違
う相手と仲良くしてるって思ったら歯がゆくてしょうがな
い」というのもあるんですよ。よく考えたもんだなって笑
うんだけど。

渡 かずみ姉の好きな歌、好きな歌詞とか教えてください。

西 私もさ、中学校しかまともに出てない。だけど、島唄を
歌って自分の気持ちを伝えたりって、学問とはまた別かな
と思う。「今はやんちゃしてるけど、大きくなったら、ちゃ
んと親孝行」するからねって島の子どもの気持ちを歌う歌
詞もある。

渡 本当、親孝行の唄ですよ、まさしくね。歌詞を聞いたら、
物語があるし、唄から学ぶことってやっぱりありますよ

西 私はほら、四〇前で大賞もらった。その頃はね、大賞も
らつたらすぐ沖縄のジャンジャンで二日間ワンマンショ
ーをしないとイケないの。ライブハウス、一〇〇人劇場。で
もまだね、私、本当に完全に歌える歌が一〇曲ぐらいしか
なかったの。二時間だから二五曲くらい歌わないといけな
い。ほんで「どうしましょう」と、築地さんに相談したら、「俺
が毎日来るから、歌え」と、毎日二時間ぐらい本当に来て
くれた。ほんで一ヶ月ちよつとで二五曲完全に歌えるよつ
てなった。全国も回ったしね。

渡 全国に島唄を披露していったわけですね。その時、やっ
ぱり島の出身の人が「自分も島よ」とかって人もいるでし
うね。

西 うん。デパートの七階とかでやるからね。鶏飯をひっ下
げて、鶏飯を売りながら歌ってたね。

渡 「郷土料理の和装」でも思い出に残る出会いがありました

やさしさを「しごと」に

九州で唯一!

あん摩マッサージ指圧師
はり師 きゅう師

3つの国家資格が取得できる学校

学校法人 久木田学園
鹿児島鍼灸専門学校



おかげさまで30周年

手軽に使える交通手段として地域に貢献します。
事業内容 貸切バス・タクシー・ペット霊園など

有限会社 あいら交通

〒899-5421
鹿児島県始良市東餅田1018-7
TEL 0995-66-2306
FAX 0995-66-5310
email-airakt@beach.ocn.ne.jp



たか。

西 お店をやった頃はさ、谷川健一さんとかの文化人が多くてね。店を開いて二〇年位はそういう人多かったね。谷川先生が難しい親父でね。それに、私、脳出血で倒れたでしょ。もうこれで店も歌も終わりがかって思った。その時、復帰五〇周年があって、十二月二〇日に鹿児島島でライブをやらなきゃいけない。すぐ電話して貰ったんです。「こうこうなつて駄目だから」って。でも主催者は、「西さん、一〇ヶ月あるからまだ大丈夫」って言う。もう、それつも回らん、よだれも垂れる、発声もできない。これが一〇ヶ月で回復するはずがないって思ったんだけど、五月で退院が決まった。歌えるかどうか分からんから、退院する時病院でショーをやったんです。院長に相談したら、婦長もすごい乗り気で、待合所に舞台作って、で、「一時間ね」って。外来の人もベッドに寝てる人も連れて来ていっぱいだったの。

渡 皆さん、入院しながらも生の島唄が、かずみ姉のね。

西 私は車いすに乗ってて、もうね、歩くのがやっとこさだから。そしたら一時間っていうのにみんな動かんよ。「終わりました」って言ってもまだ動かないから、また一時間ほどやった。

渡 その後のリハビリはどうでした。大変だったでしょうね。

西 どうしても舞台出るから何とか歌えるかねって、同時血圧器を付けて、昇喜代子さん・和美さん親子を呼んで三味線弾いて歌ったんです。バーンて歌うと、二〇〇ぐらい上がる。で、シャッて下がる。唄者はそのぐらい血圧上がるんだって、舞台で。「すぐ下がるから血管の運動になつていいんだ」「それで倒れること」はないって。

渡 そういった検証をしながら、リハビリを繰り返した。

西 みんなの協力があって、十二月二〇日のステージができた。私の生きる力もあつたんじゃなかな。お店も潰れなかったしね。

渡 今でも大人気店ですから。

西 入院しても一日しか休まなかったですよ。みんな寄ってたかって助けてくれた。娘も入ったばかりで何もできなかったからね。あと唄者がもう、築地さんや昇さんや交代でみんな歌いに来て。ずっと一年ぐらい助けてくれて、うちが厨房に入るまで。

渡 二〇年前ですね。今はお元気じゃないですか、かずみ姉。

西 いやあもう、今、やっとこさ生きてるよ。

渡 いやいやいや、やっぱりね、喜ばれたんじゃない？復活したときは皆さん来られたでしょうね。店に帰ったらまた忙しい。

西 中央会館でさ、元気になりましたってショーもやったもんね。

渡 若手の唄者の皆さんも本慕ってて、「かずみ姉」「かずみおばあ」って。若手の皆さんにどんなことを期待してますか？

西 そうね、喜界島の安田教室は、大会のたんびに朝早い船で来るでしょう。安田のばあちゃんが、うちの店でさんざんそうめん湯がいて、そうめん汁して食べさせる。疲れて朝も早いしお腹すいてるし、そうめん食べてそれから大会に行く。うちの店はそういう子ども達がどんどん育つていて。四〇周年のときもね、唄者が三六人集まった。みんな感動しとったよ。「民謡大会」でもこんなに集まらんって。



⑨ また、若手の唄者が企画した「感謝の宴、ありがたさまりよ唄」では、ホテルに「郷土料理かずみ」を再現して大反響でしたね。

⑩ リハーサルするとき「なんでここに私の看板があるの」ってびっくり。でもすごいね、もう、ありがたかったよ。大阪から、鹿児島、東京、みんな来てくれたもんね。

⑪ もう本当に、皆さん喜んだ。今度は帰島五〇周年記念です。今後、島唄に期待すること、どんなことがありますか。

⑫ 若い子たちを見てると、私らの掛け唄みたいなのはもう方言も使えないし無理だけど、でも見てたら頼もしい。なんか元気のいい唄を歌ってる。今、若い子って三味線も弾くでしょ。うちらなんか三味線、握りもできなかった。これから楽しみよ。

⑬ 今お話があった方言に関してはまた、方言の意味を伝えながら島唄をたくさん習っていくといいかもしれないね。

⑭ やっぱり方言はね、柔らかいんですね。だって島に行ったら、「はげー、あのばあちゃん、ふっちゅうわらびになつてやあ」って言うでしょう。「ボケた」って言葉言わないよ。島の言葉ってとっても何ちゅうの、思いやりがある。優しさ、優しさが。

⑮ 優しさを含みながら表現してる。習っていかんないかんとって、今思いました。島々の集落々々のなまりも残したんですね。

⑯ うん。今、お姉さんたちが頑張ってるけどね、ラジオ番組でね。

⑰ かずみ姉なんか、まさしく島口方言のネイティブスピーカーだと思えます。今日は、貴重なお話ありがとうございます。

⑱ ました。まだまだステージにも立たれてますので、これからもかっこいい歌を聞かせてください。今日は、本当にありがたさまりよ唄。ありがとうございました。



西 和美さんプロフィール

- 昭和17年 兵庫県尼崎で生まれる
生後7か月で大島郡瀬戸内町西古見に帰る
- 昭和25年 小学3年生でトカラ列島口之島に引っ越す
- 昭和32年 口之島中学卒業、愛知県の紡績工場に就職する
- 昭和40年 結婚して兵庫県尼崎で暮らす
- 昭和53年 尼崎の民謡保存会で島唄の練習を始める
- 昭和56年 奄美に帰り、うどん屋「まんこい」の雇われ店主となる
坪山豊さんに師事し本格的に島唄を習い始める
- 昭和58年 味どころ「かずみ」を開店する
南海日日新聞の民謡大会で「奨励賞」を受賞する
- 昭和59年 「新人賞」を
- 昭和60年 「民謡大賞」を
- 昭和61年 スミソニアン博物館の民俗文化祭に出演する
(築地俊造さん・坪山豊さんと共に)
- 平成15年 脳出血で倒れる(2月)
「奄美群島復帰五十周年記念イベント」で舞台復帰する(12月)
- 平成16年 「元気になりました 西和美しまうたコンサート」を開催する
映画「アダン」の挿入歌を歌い、映画に出演する
- 令和元年 「西和美・感動の宴～ありがたさまりよ唄」を開催する

前号掲載の内容にいくつか誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます

- P 1 (誤) 高風正治↓(正) 高風勝治
- P 13 (誤) 郷中ん寄い四民憲章で締めくくっ↓(正) 郷中ん寄い市民憲章で締めくくっ
- P 33 (誤) 鹿児島県華道連合会↓(正) 鹿児島県連合華道会
- P 34 (誤) 特定非営利法人JA☆T S U M A ↓(正) 特定非営利活動法人JA☆T S U M A

コロナ禍の文化活動

歌劇「ミスター・シンデレラ」

鹿兒島オペラ協会

南日本音楽祭・鹿兒島オペラ協会定期公演の歌劇「ミスター・シンデレラ」が、令和四年三月二十六日(土)午後六時半、同じく二十七日(日)午後二時から霧島市民会館で行われた。

今回の歌劇は、鹿兒島オペラ協会が創立三十周年を記念して制作した作品で、作曲者の伊藤康英先生の指揮と台本作家の高木達先生の演出での公演であった。また、公演に当たっては、会場が少し手狭なこともあり、オーケストラ編成を新たに小編成用に書き直しての公演であった。作品は、鹿兒島を舞台におはら祭の前日。倦怠期を迎えている一組の研究者夫婦が繰り広げる物語である。夫の正男はミジンコオタクの研究者。性格は小心でくそ真面目。自分の身なりにかまわず地道に研究を進めるタイプ。そんな正男が、冷蔵

庫の中の栄養ドリンクを飲み干したところから正男が赤毛の女へと変身する。この変身は潮の干満に影響される。

正男役は、地元霧島市出身の瀬戸口浩と同じく同市出身の小城龍生が、その妻薫と同じく同市出身の瀬戸口美紀代と宮原真紀が演じ、正男が変身した赤毛の女を吉留美智子と大嵩桃代が演じた。合唱は、鹿兒島オペラ協会合唱団と霧島市の有志の皆さんによる合唱で、管弦楽は、鹿兒島交響楽団であった。ライブ制作の舞台と吉永好人の照明が様々な場面の雰囲気盛り上げていた。

初めてご覧になった観客の皆様も再度、霧島市で見たいと好評であった。

月伝統舞踊を後世に月温故知新

郷土の伝統芸能舞踊スタジオブ主宰 初音家 政鵬翔 (日本舞踊初音家流 三代目家元)

ブブのルーツは初代、初音家政奴、民謡歌手で三味線奏者(本名：田中政雄)。のど自慢三味線奏者専任でもあり、長年、鹿兒島市と県の観光大使を務め、一九四九年、現在の「おはらまつり」企画・演出に関わった発起人でした。

二代目座長初音家政奴は舞踊家で振付師。NHK大河ドラマ「翔ぶが如く」で『竹はんや』が起用されました。一九八〇年鹿兒島芸術学園鹿兒島芸術学園を開講。現在、三代目家元が戦前から続く希少な灯を消さぬよう地元芸能舞踊の継承を!

また、ブブの特異な日本舞踊とフラメンコ二刀流を織り交ぜ演出しPR動画をSNSで広く周知して活動を今年五月から開始しました。

十一月二十七日(日)には、『伝統舞踊を後世に、温故知新』と題し、鹿兒島県の「新たな日常での文化芸術活動支援事業」を受け、フラメンコは歌とギターの三位一体のステージ、津軽三味線演奏など多彩な演目を織り交ぜ実施します。次世代へ興味を持って頂ける活動発信していく所存であります。



始良市 泉長の森にて撮影

始良市 泉長の森にて

文化活動

「二期一会」の心

(一社) 茶道裏千家淡交会鹿児島支部

千利休以来四五〇余年続く日本の伝統文化である茶道は、人と人との関わりを大切にする「もてなしの文化」です。

日々を忙しく過ごし、自然に接することも少なく、心に余裕の持てない現代だからこそ、茶道を通じて自らを見つめ、心を豊かにすることができるとは思いませんか。

私達は三世代を通じて茶道を楽しんでいます。一つは学生茶道です。園児から生徒学生に至るまで礼儀作法や茶のたて方等共に学び、実践の場として学生合同茶会を体験します。二つには青年部活動です。一碗の茶に「二期一会」の心を託し、社中・地域の垣根を越えて、共に交流、研鑽し、時代に即した茶道を楽しんでいます。三つには年齢にかかわらず、日本の伝統文化としての茶道を深く見つめながら野に咲く花にも心を寄

せ、我が身を見つめ直します。

「夏は涼しく、冬暖かに」してもてなしの心を重ねます。

茶道は誰でも気軽に、奥深く親しめる文化です。



↑ 青年部茶会～山形屋ベルク広場



↑ 学生合同茶会



← 利休忌

萌桜会

会長 北郷 萌祥

萌桜会は平佐北郷家の歴史に光を当てながら、薩摩の歴史文化を掘り起こし、郷土愛を高め、次世代への継承に努めながらボランティア活動をしています。

〈二年間に実施している活動内容〉

- 一 「ひらさ北郷・桜まつり」・・・歴史祭り
- 二 「南方神社」の春祭り・・・三月下旬
- 三 龍神祭・・・「南方神社の秋祭り」・・・十二月三日(文化の日)
- 三 白朋舎展・・・絵画展・・・四月上旬



↑ 歴史講演会



↑ ひらさ北郷・桜まつり

コロナ禍の

K a g o s h i m a カンツォーネ協会

会長 蜂須賀 美枝子

コロナ禍感染の国内確認から三年の月日が経ち、拡大は止むことなく、私にはまさに古今未曾有の事であり、更に声を発することを禁忌されているかのような状況下の昨年、鹿児島県文化協会の会員として仲間に入らせて頂きました。

昨年度より、当K a g o s h i m a カンツォーネ協会会長を拝命し、この度みなさまへ「あいさつの機会をいただき、「歌える」ことへの希望を強く抱き、信じ、文化のレーンにしっかりと乗って行きたいと、日々心は燃えております。

また大変なこの時期、県下相当数の文化団体を支え、素晴らしい大舞台の実現、更なる発展を遂げるべく奮闘いただいております原口会長様及び事務局の方々には深謝申し上げます、本年こそは「文化の輪」で繋が



る喜びの時を心待ちに「ワクワク」しております。文化協会会員のみなさま、楽しく、気分はいつも「チャオ！いっしょに歌いましょう」どうぞ宜しくお願い申し上げます。尚本年十二月三日（土）やつとコンサート開催に辿り着けそうです。併せて宜しくお願いし、ごあいさつといたします。

鹿児島文化交流協議会

会長 天達 美代子

当会の設立は一九九九年六月。文化・芸能の活動を中心に、中国・サンフランシスコ・ナポリなど各地で国際交流を続けながら現在に至っております。

中でも、中国との交流は二十数年にもなり、二〇〇七年一〇月には、長沙市人民対友好協会の海外理事を拝命し、鹿児島と中国のより良い友好親善にと全国各地で芸能交流を行って参りました。

二〇〇八年には、全国組織「さつまの風」を発足し、鹿児島の素晴らしい文化・産業・観光を全国にという思いを基礎に、それぞれの団員と共に歌や日本舞踊・琉球舞踊・和太鼓・三味線など様々な日本ならではの芸能を、鹿児島から発信し続けて今年で一三回目を迎えます。

第八回「さつまの風」大会では「国際交流フェスタ」を開催し、世界各

国の郷土芸能を交流し合う機会となりました。その際、長沙市の中学校生徒一五名も芸能交流団としてご出演頂き、鹿児島市民三〇〇名ほどと交流を深めました。

二〇一八年には、中国訪問で交流した学校から先生と学生二十三名ほどを招待し、団員の各自宅にて三日間のホームステイを実施しました。期間中には鹿児島市役所を表敬訪問し、市内の小学校では生徒どうしの交流会を行うことでもできました。双方ともとても感激し合います。双方ともとても感激し合います。

昨年五月には、鹿児島県日中友好協会女性委員会も発足し委員長を務めることとなりました。これからは鹿児島文化交流協議会では、団員の皆さんと共に、様々な国の方々と交流を続けて参りたいと思います。

文化活動

鹿児島県おかさんコーラス連盟

会長 上村久美子

当連盟は現在加盟団体四十三団体、会員数七五〇名。練習の成果を発表する場である「おかさんコーラス合唱祭」と合唱講習会である「合唱会」が活動の大きな柱です。ところが二〇二〇年から始まったコロナ禍で合唱活動も思うようにできない日々が続いています。加盟団体会員数も激減しました。感染対策の工夫を凝らし活動を再開した団体もあれば、厳しい状況の団体もあります。そのような中でも少しずつ前へ進もうと今年度は一〇月に合唱祭を開催予定です。

二年間開催中止を余儀なくされましたので皆さん楽しみにしています。また、二本目の柱である「合唱会」は少人数での参加に限定し、昨年は開催することができました。今年度も一二月に開催を予定しています。

歌うだけでも楽しい合唱活動ですが発表の場があれば目標となり練習の励みにもなります。講習会を受けることで技術の向上にもつながります。不自由な活動は、しばらく続きそうですが、合唱の灯が再び明々と輝く日が来ることを信じています。



鹿児島県尺八連盟

会長 福田 井山

本連盟は、鹿児島県において「尺八吹奏の向上と、会員相互の親睦を図ることにより尺八邦楽の発展に寄与する目的」の下、流派を超え老若男女に関わらず、尺八を愛好する士によって和気あいあいと活動しています。

尺八の音色は、独奏、秘曲としての「本曲」、絃方が主体の地歌や箏曲に尺八が加わる古典「三曲」、明治以降発展した「新曲」「現代曲」など多種多様な曲を、演者それぞれの趣を持って奏でられます。独奏、合奏に関わらず、尺八独特の奏法による情景描写や心象風景の表現は、演奏していてもなんとも楽しいものです。

そういった楽器の音色の魅力に惹かれ合った連盟会員にとりまして、「研究会」「演奏会」は大変楽しみな催事、発表の場であります。特に「絃

方(いとかた)」「箏、三絃の皆さんと合奏していただくことで、得てしてお浸り会のようになりがちな研究会・演奏会がアンサンブル独特の緊張感みなぎる場になり、会員の音質向上に繋がっていますので、絃方には大変感謝しております。

昨今は世間がなにかと騒がしい中ではありますが、本連盟はこれからも「流派を超え」、融和親睦と相互扶助の「和の精神を尊び」ながら、会員一同元気に研鑽して参ります。



コロナ禍の

「田の神を守る会」の活動状況

代表 八木 幸夫

県文化協会に「田の神を守る会」設立のご報告をさせていただいて、およそ三年が経過しております。しかしながら、新型コロナウイルスの感染の影響で、ほとんど活動ができていないのが現状です。県文化協会総会での私の「田の神」の講演会も三年間すべて中止となり、正式にこの会の発足式すらできておりません。

立ち上げる予定であります。現在は書籍の出版活動と県内外の「田の神」の興味をもっていたいただいた方たちとの、情報交換が正直な活動状況であります。

今年七月に、四冊目の「田の神サアガイドブック」を出版しましたが(写真1)、出版するたびに何とか貴重で身近な歴史的財産の田の神石像を守っていけないかと悩んでおります。何とかコロナ禍も終息したら、「田の神を守る会」の発足式を正式に

先日、鹿児島市の天文館で、未発見の田の神石像を、郷土料理「さつま路」で偶然見つけました(写真2)。まだ知らない田の神が多く存在するのだらうなと思います。これから、「田の神を守る会」を充実した組織に作り上げ、多くの皆様と一緒に活動を行っていただく所存であります。ご支援・ご協力いただけますようお願い申し上げます。



(写真1)



(写真2)

「楽しんでる人結構います」

鹿児島県合唱連盟 理事長 盛山 春樹

感染症にかからないために、「合唱など」を控える呼びかけがあつてすでに二年である。その間、全日本合唱連盟を始め、政府機関、劇場関係機関などから安全に活動できる方法を示すガイドラインが策定され、幾度か更新されてきた。とは言え、合唱活動は、まだまだやり辛い今日である。そんな中でも県内各地、学校現場や一般のサークルで、地道に対策を講じ、ひたむきに取り組んできた状況には、合唱の必要性を感じるところだ。

去る六月五日(日)、鹿児島市の宝山ホールにおいて本連盟主催「第七十三回鹿児島県合唱祭」が行われた。このイベントは本連盟が主催する県内で最大級の合唱イベント。コロナ禍ながら、小学生からシニアまで五十一団体(離島二団体を含む)が、それぞれ個性あふれる演奏で日

頃の練習の成果を披露した。中でも、来年度の国体開催に向けたPRのために集結した、鹿児島国体特別合唱団は、連盟理事を中心に、各合唱団の有志や団体延期前に演奏予定だった松陽高校と武岡台高校の卒業生で構成され、合唱団の垣根を超え、世代を超え、鹿児島の底力ともいえるべくエネルギー溢れる演奏を披露した。かごしまPRキャラクターのぐりぶーとさくらも応援に駆け付け、総勢四十人の声の迫力に、会場は大いに盛り上がった。

人々の情熱が迸る。じゃつて、歌うとは、おもしろいか!



コロナ禍の文化活動

「鹿児島から世界へ平和の祈りを」

公益社団法人鹿児島交響楽団事務局長 酒匂 信次

来年で創立五〇周年を迎える公益

社団法人鹿児島交響楽団。令和四年六月十九日の第九十六回定期演奏会は、「オールカゴシマ!」というコンセプトで、鹿児島島の指揮者、ソリスト、作曲家の作品で開催されました。

鹿児島生まれの若手作曲家、平山雄一氏と中村夏野氏の斬新な作品で始まり、第七十回南日本音楽コンクールグランプリの三原奏音氏が、モーツァルトのフルート協奏曲第二番を新緑のような鮮やかな音色で演

奏し、聴衆を魅了しました。

後半は福島雄次郎氏の管弦楽のための「ヤポネシア組曲」。奄美群島の自然や民謡を題材にした「鹿児島島の宝」といえる作品を、作曲家自身から薫陶を受け、当団第四十四回定期でも当曲を指揮した、真邊省至氏のタクトで演奏しました。鹿児島郷土愛を感じつつ、アンコールではウクライナの平和を願い、映画「ひまわり」の愛のテーマを演奏し、「鹿児島から世界へ平和の祈り」を音楽を通じて発進しました。



天秤宮Ⅱ

代表 宮内 洋子

雨あがりの公園

河野 百合子

誰もいない公園
砂場に置き去られたスコップは
黄色い風景の一コマ
地面には雨のおきみやげ
楕円形の小宇宙は
とらえようとするほど
遠ざかる幻影を
ぽっかり映し出す
傾いたままのシーソー
揺れないブランコ
ギョツと充滿した静謐の時

通りの向こうで
自販機がゴトンと缶を押し出し
街路樹の葉群れがそよぐ
まだ覚めきれしていない
夢のへりを抱えて
各駅停車の列車が
いま走り出す



とうきょう総文2022のパレードに出演する生徒実行委員



第47回全国高等学校総合文化祭
2023 かがしま総文
 2023 KAGOSHIMA SOUBUN
 2023 7/29 SAT ▶ 8/4 FRI

竹の結晶

桜島の気噴いのせ

紬げ文化の1ページ

令和五年夏、第四十七回全国高等学校総合文化祭（2023 かがしま総文）が鹿児島で開催されます！

全国高等学校総合文化祭は、昭和五十二年から各都道府県持ち回りで開催されている高校生による国内最大規模の芸術文化の祭典です。「文化部のインターハイ」とも呼ばれる本大会は、例年、国内外から約二十万人の高校生が参加し、約十万人の観覧者が訪れます。

令和五年七月二十九日から一週間、鹿児島県で開催される「2023 かがしま総文」は、全都道府県開催の一巡目の最後を飾る記念すべき第四十七回大会で、県内八つの市や町で、総合開会式やパレード、合唱・吹奏楽・書道・将棋などの二十二部門大会が行われます。

そこで、今号と次号にわたり第四十七回全国高等学校総合文化祭（2023 かがしま総文）に関する県内高校生の取組や文化活動の様子を紹介します。



大会ポスター
 制作：伊集院高校 池田敦哉さん



大会マスコットキャラクター「かがまる」
 原画：松陽高校 上村美妃さん

大会テーマ（縦書き）
 揮毫：吹上高校（R2年当時）吉井楓さん

22の部門大会と開会行事・パレードが、県内8つの市町で開催

(令和4年6月現在)

開催部門	開催部門	主会場	所在地	令和5年7月			8月				
				29	30	31	1	2	3	4	
				土	日	月	火	水	木	金	
開会 行事	総合開会式(※)	西原商会アリーナ	鹿児島市	●							
	パレード(※)	かごしま文化ゾーン	鹿児島市	●							
規定 部門	1 演劇	川商ホール	鹿児島市		●	●	●				
	2 合唱	宝山ホール	鹿児島市								●
	3 吹奏楽	宝山ホール	鹿児島市			●	●				
	4 器楽・管弦楽	川商ホール	鹿児島市							●	●
	5 日本音楽	日置市伊集院文化会館	日置市	●	●						
	6 吟詠剣詩舞	SSプラザせんだい	薩摩川内市			●					
	7 郷土芸能	奄美文化センター	奄美市		●	●	●				
	8 マーチングバンド・ バトントワリング	西原商会アリーナ	鹿児島市			●					
	9 美術・工芸	鹿児島市立美術館 鹿児島県歴史・美術センター黎明館	鹿児島市	●	●	●	●	●			
	10 書道	サンアリーナせんだい SSプラザせんだい	薩摩川内市		●	●	●	●	●	●	
	11 写真	かごしま県民交流センター 鹿児島県霧島アートの森 他	鹿児島市 湧水町	●	●	●	●	●			
	12 放送	かごしま県民交流センター	鹿児島市							●	●
	13 囲碁	指宿総合体育館	指宿市			●	●				
	14 将棋	指宿総合体育館	指宿市							●	●
	15 弁論	サンエールかごしま	鹿児島市				●	●	●		
	16 小倉百人一首かるた	西原商会アリーナ	鹿児島市					●	●	●	
	17 新聞	志学館大学	鹿児島市	●	●	●					
	18 文芸	始良市文化会館 加音ホール	始良市		●	●	●	●	●	●	
	19 自然科学	鹿児島大学 谷山サザンホール	鹿児島市	●	●	●					
協賛 部門	20 特別支援学校	センテラス天文館	鹿児島市	●	●	●					
	21 茶道	かごしま県民交流センター	鹿児島市			●	●				
	22 軽音楽	鹿屋市文化会館	鹿屋市							●	●

※ 海外から3か国の高校生を招へい予定(総合開会式への出演、パレードへの参加、県内高校生との文化交流)

生徒実行委員会の活動状況

総文祭は高校生が主体となって創り上げる大会であり、生徒実行委員会が大会のPR活動や関連プロジェクト等の企画・運営を行っています。

七月末には開催一年前イベントを実施し、カウントダウンボードの除幕式や大会のPR活動を行いました。

また、第四十六回全国高等学校総合文化祭（とうきょう総文2022）の総合開会式とパレードに参加し鹿児島大会を全国に向け発信しました。



生徒実行委員（広報・デザイン部会）のアイデアを元に制作されたカウントダウンボードは、現在、県庁1階ロビーに設置されています。



AMU 広場で開催した1年前イベントで、大会をPRする生徒実行委員と大会マスコットキャラクター「かごまる」

今後の生徒実行委員会の主な活動

- 令和4年10月16日（日）
300日前イベント（SNS他）
- 令和4年10月23日（日）
プレパレード（かごしま文化ゾーン）
- 令和4年11月3日（木・祝）
プレ総合開会式（西原商会アリーナ）

※ イベントの内容等については、大会公式ホームページ等でお知らせします。



とうきょう総文2022のパレード

国際交流事業について



かごしま総文では、本県が2か国、後催県（岐阜県）が1か国の海外の高校生を招へいし、総合開会式への出演やパレードへの参加、日本の高校生との交流を通して、大会を盛り上げていただく予定です。

☆ 本県招へい国：ニュージーランド、ベトナム



令和4年7月2日 招へい国とのオンライン交流

参加した生徒の感想



【新聞部門】

大島高校 有田結愛さん

生徒交流企画では、全国の皆さんと班別に新聞を作成し、交流を深めることができました。また、東京都の生徒実行委員が力を合わせて運営をする姿に、とても感動しました。閉会式では、次期開催県の挨拶や東京と鹿児島とのTシャツ交換を行い、来年の大会への意欲が高まりました。鹿児島大会では、全国の皆さんに楽しんでもらえるよう準備を頑張っていきたいと思います。



【美術・工芸部門】

国分中央高校 小峰春菜さん

東京都美術館では、美術・工芸、書道、写真の3部門が展示されていました。実際の作品からは、作品集に掲載された写真では伝わらない色彩や質感の良さを改めて感じることができました。そして、会場に展示された自分の作品と対面した時、何とも言えない不思議な気持ちになり、全国から選ばれた作品と一緒に展示されていることがとても誇らしく思えました。



【吹奏楽部門】

鹿児島玉龍高校 厚東仁菜さん

東京文化会館での12分間は一生の思い出になりました。味わったことのない迫りに圧倒されましたが、素晴らしい会場で演奏できることの幸せを噛み締めながら演奏しました。来年は鹿児島大会です。これまでの思いを繋ぎ、「吹奏楽さきがけの地」鹿児島から、さらに吹奏楽が発展していくことを願っています。



【吟詠剣詩舞部門】

松陽高校 宇都礼基さん

吟詠剣詩舞は、詩吟・剣舞・詩舞を総称した部門です。今回、詩吟を披露する鹿児島玉龍高校生1名、剣舞を披露する松陽高校生3名が総文祭初参加を果たしました。大会では気づいたことがたくさんあったので、来年は更に完成度の高い発表ができるように頑張ります。

東京大会における県代表生徒の活躍

第四十六回全国高等学校総合文化祭（とうきょう総文2022）が七月三十一日から八月四日の五日間、東京都で開催されました。鹿児島県を代表して約三百人の生徒が参加しました。

部門プレ大会日程・会場

(令和4年8月現在)

開催部門	日程	主会場
1 演劇	12月23日(金)・24日(土)	川商ホール
2 合唱	令和5年3月11日(土)・12日(日)	宝山ホール
3 吹奏楽	令和5年2月2日(木)	宝山ホール
4 器楽・管弦楽	11月8日(火)	川商ホール
5 日本音楽	8月27日(土)	日置市伊集院文化会館
6 吟詠剣詩舞	11月12日(土)	SSプラザせんだい
7 郷土芸能	11月5日(土)・6日(日)	奄美文化センター
8 マーチングバンド・バトントワリング	9月11日(日)	西原商会アリーナ
9 美術・工芸	12月10日(土)～17日(土)	鹿児島市立美術館 県歴史・美術センター黎明館
10 書道	11月22日(火)	SSプラザせんだい
11 写真	11月2日(水)～6日(日)	かごしま県民交流センター
12 放送	11月10日(木)	かごしま県民交流センター
13 囲碁	10月29日(土)	指宿総合体育館
14 将棋	10月30日(日)	指宿総合体育館
15 弁論	10月21日(金)・22日(土)	サンエールかごしま
16 小倉百人一首かるた	12月21日(水)・22日(木)	西原商会アリーナ
17 新聞	12月3日(土)・4日(日)	志学館大学
18 文芸	11月7日(月)	始良市文化会館加音ホール
19 自然科学	12月24日(土)・25日(日)	鹿児島大学
20 特別支援学校	12月14日(水)・15日(木)	センテラス天文館
21 茶道	10月4日(火)	かごしま県民交流センター
22 軽音楽	8月28日(日)	鹿屋市文化会館

規定部門

協賛部門

大会の成功に向けて

とうきょう総文2022での視察やPR活動等を終えて、いよいよ開催県としての活動が本格化します。

八月下旬から令和五年三月にかけて二十二部門のプレ大会が左記のとおり開催されます。

なお、これらのプレ大会については

関係者のみの開催になる場合と一般に公開する場合がありますので、詳細や最新の情報は、大会公式ホームページをご覧ください。

プレ大会の様子は次回の「文化かごしま」に掲載予定です。

協賛のお願い

現在、生徒実行委員を中心に、県内の高校生が本県ならではの「おもてなしの心」をもって国内外の高校生や御観覧の方々をお迎えし、記憶に残る素晴らしい大会となるよう取り組んでいるところです。

つきましては、大会の趣旨を御理解いただき、御協賛について御協力を賜りますようお願い申し上げます。詳しくは、大会公式ホームページをご覧ください。

主催 文化庁、公益社団法人全国高等学校文化連盟、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市、鹿児島市教育委員会、日置市、日置市教育委員会、指宿市、指宿市教育委員会、薩摩川内市、薩摩川内市教育委員会、始良市、始良市教育委員会、湧水町、湧水町教育委員会、鹿屋市、鹿屋市教育委員会、奄美市、奄美市教育委員会、鹿児島県高等学校文化連盟

後援 全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、鹿児島県高等学校長協会、鹿児島県特別支援学校長会、鹿児島県私立中学高等学校協会

問合せ先 第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島県実行委員会事務局
(鹿児島県教育庁高校教育課全国高等学校総合文化祭推進室内)
TEL 099-286-5575 ☑ 2023soubun-suishin@pref.kagoshima.lg.jp

詳しくは大会公式ホームページやSNSをご覧ください。



検索 2023かごしま総文



始動

鹿児島県の文化の未来を切り開きます。

かごしま文化未来創造プロジェクト

県文化協会では、鹿児島県の輝く未来を創造し県全体の文化振興を図るため、今年度からプロジェクト会議を始動し、鹿児島県の文化振興ビジョンを作り上げます。

また具体的なミッションを起こしながら鹿児島県に住む多くの人々が文化的に誇りをもち生活していける取り組みを展開します。

そのために県内の生活・芸術文化に示唆をいただける人材とプロジェクト会議を発足し、提言書にまとめます。

Question どのようなことを議論するのか

Answer 四つの分野で議論します。

① 保有の文化意義・価値を尊重しつつ新しい文化を創造します。

鹿児島県特有の生活文化や芸術文化に根差した特色ある文化を創造
広域的で世代間を超えた連携、観光など地域振興との連携など

例 地域に残る「かるた」などと現代芸術と融合
歴史文化ゾーンと融合する事業

② 伝統文化の継承・発展

鹿児島県は、その地理的要因などから貴重な伝統文化が各地に数多く存在します。しかしながらその多くが消滅の危機に瀕しています。

少子高齢化の波は如何ともし難く、見聞きし触れてきた祭りや伝統芸能などが危ないのです。

まず鹿児島県を知る、なぜその伝統が生まれたのか。なぜ継承し続けているのか。

形にとらわれず本質を若い世代に継承し、新しい芸術文化とも融合した継承・発展。本質(スピリッツ)を継承し、持続可能な新しいカタチが求められます。

例 島唄が若い人たちに受け入れられ、発展している姿

③ 育てる文化 生涯学習の観点から

文化協会の原点(生涯学習推の講座などから自主団体育成へそして各地で発足)に立ち返る。

社会教育進展で人が育つ。地域を自ら興す意識 その意識を今一度行政と共に再考する。

その時に大切なのが、弱い立場と考えられる人の側に立つ視点、子ども達、外国人など

例 地域の課題を掘り起こし、子ども達などと学びを興す。

発信したい分野ごとに子ども達とワークショップなど展開すること

④ 文化協会の組織・機構・財政健全化

鹿児島県の文化振興を考えると県内各地域に50,000人程度もの会員が日々切磋琢磨し活動している文化協会の意義は極めて高く、本当の意味のかごしま文化の振興は、地域文化協会や各文化団体の底上げがあつてこそ考えます。

しかし、財政・組織的にも脆弱な部分が多く行政・議会とも研鑽し健全化を議論します。

例 財源的には、助成金の検討、文化行政事業等の受託

企業と協賛する事で、企業のメッセージ性を高める取り組み

組織的には、行政から見た文化協会の立ち位置を明確にし、揺るぎないものとする。

第一志望校合格なら



〒892-0846 鹿児島市加治屋町9-1
☎099-227-9500

サラミ風蒲鉾

魚うおっち 謹製 浜崎



農林水産大臣賞 名産/さつま揚げ・蒲鉾

(有)浜崎蒲鉾店

〒896-0068 鹿児島県いちき串木野市三井3092
TEL0996-32-2229 <https://e-hamasaki.co.jp/>



未来に向けたグランドデザインを作成

かごしま文化未来創造プロジェクト

新しい文化の創造

保有の文化意義・価値を尊重しつつ
新しい文化を創造

コア

高風勝治(オペラ協会会長)
初音家政鶴翔(ブブ主宰)

盛山春樹(合唱連盟会長)
中原晋司(中原水産社長 だしソムリエ)
地蔵原勇(きりしま創造舞台理事長)

財政健全化

コア

瀬戸口浩(霧島市文化協会会長)
中野政道(指宿市文化協会会長)

内山竹文(霧島地区文化協会事務局長)
原口泉会長
本重人(元県文化振興財団専務理事)

組織・機構健全化

コア会議

メンバー
会長、副会長、事務局局長、
他コアメンバー
指導員、事務局業務職員

主要内容
全体計画、会議の方向性を示す

伝統文化の継承・発展

コア

勝目興郎(曾於市末吉文化協会会長)
林竜一郎(かごしま文芸研)

島津義秀(精矛神社)
池水聖子(鹿児島市伝統芸能部会長)
宮原俊郎(南九州市文化協会会長、劇団いぶき主宰)

育てる文化

生涯学習の観点から

コア

川原純子(県文化協会副会長)
吉川成子(始良地区文化協会・社会教育委員代表)

窪壮一郎(農業、ブックカフェ、宗教行政史研究)
内村忠生(事務局経験者、日本マツク「ハント」協会)
鶴田直樹(県歌人協会会長)

令和4年8月

令和5年11月

コア

課題の調査・分析 予算化、招集・運営等

チーム

概ね4か月に一度 2回
10・1月

概ね4か月に一度 2回
6・10月

人選、依頼

情報・データ収集

信頼と技術のトータルサポート、
ともに新しい明日に

三洋工機株式会社

代表取締役社長 林 美智子

本社/〒891-0122

鹿児島市南栄二丁目7番地6

出張所：福岡・熊本・宮崎・鹿屋

www.sanyokouki.co.jp

MS PARTNERS GROUP

私たちは鹿児島ユニテッドFCを応援しております

東京事務所
〒107-0062 東京都港区南青山二丁目三十一番一
マストライフ南青山ビル三階
TEL〇三(六四三三)七八五五
FAX〇三(六四三三)七八一〇

鹿児島事務所
〒891-1274 鹿児島市緑ヶ丘町四五一六
TEL〇九九(二四三)四六六〇
FAX〇九九(二四四)一一二七
<http://www.mspartnersgroup.org/>

代表取締役
牧 真之介
公認会計士 / 税理士 / 行政書士 / CFP
経営心理士

MSパートナーズグループ
税理士法人MSパートナーズ
会計士法人MSPGコンサルティング(株)

株式会社 東条設計

〒892-0803 鹿児島市祇園之洲町43番地

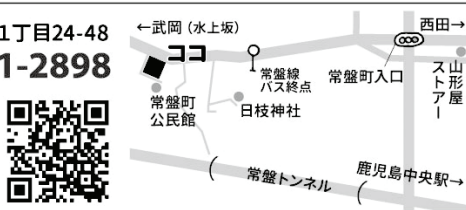
TEL:099(248)2251 FAX:099(248)2261

餃子食堂 まさだや

鹿児島市常盤1丁目24-48
TEL.099-281-2898

無人店舗も営業中!

HP・動画



賛助会員と寄付金の募集

鹿児島県文化協会では、文化振興並びに文化活動を支援していただく個人及び団体の賛助会員を募集しております。(年会費は、個人三千元・団体五千元)また、同じ趣旨で寄付金(随意)も受け付けております。

県の文化活動の発展のために、ぜひご支援を賜りますようお願いいたします。

申し込み方法

ホームページから書式をダウンロードし、ご記入の上郵送してください。電話での申し込みもできます。会費は下記口座のいずれかにお振り込みください。

ゆうちょ銀行 記号 17880
番号 06875041
鹿児島銀行 県庁支店 普通
口座番号 921457

特典

機関紙「文化かごしま」にお名前を記載いたします。
機関紙「文化かごしま」を謹呈いたします。(年2回発行)
県文化協会の主催する行事へご招待いたします。



第10回いちき串木野市

音楽のつどい

～届け！平和への想いコンサート～

2023年 2月26日(日) 開場13:00・開演13:30～

会場♪いちき串木野市市民文化センター♪ 入場無料

～出演団体～

市来小・中学校合同演奏 生田流筑紫会&大久保礼法着物教室～箏と装道～
神村学園吹奏楽部 市民歌&フラダンス 渚ハーモニカクラブ&はまゆうコーラス
友愛幼稚園 若い音楽家たちのセッション 外国の文化より～神村学園日本語学科の皆さん～
コールあじさい&日高千代子バレエスタジオ ピアノ&ケンハモ教室 with トロンボーン
ハレルヤ合唱団

主催 いちき串木野市文化協会

協賛 濱田酒造(株) いちき串木野市特産品協会

後援 いちき串木野市

いちき串木野市教育委員会 鹿児島県文化協会

南日本新聞社 MBC 南日本放送

◇問い合わせ◇

音楽のつどい実行委員会

代表 川原純子 TEL090-5732-7009

ロビーにて
作品展示
呈茶席(裏千家)



令和4年度 役員・理事紹介

【 役員 】

役職名	名前	所属
会長	原口 泉	志學館大学 教授
副会長	川野 秀哉	南さつま市文化協会 会長
	川原 純子	いちき串木野市文化協会 副会長
総務部長	勝目 興郎	曾於市末吉文化協会 会長
総務副部長	中野 政道	指宿市文化協会 会長
理事	牧尾 正臣	阿久根市文化協会 理事長
理事	清乃本 勝穂	薩摩川内市文化協会 事務局長
理事	脇岡 重幸	出水市文化協会 会長
理事	中西 喜彦	鹿児島謡曲連合会 会長
理事	徳永 眞一	中種子町文化協会 会長
事業部長	高風 勝治	鹿児島オペラ協会 理事長
事業副部長	瀬戸口 浩	霧島市文化協会 会長
事業副部長	吉川 成子	始良市文化協会 会長
理事	平川 聖一	伊佐市文化協会 会長
理事	境 賢勇	奄美市文化協会 会長
理事	盛山 春樹	鹿児島県合唱連盟 理事長
理事	宇都 大作	鹿児島市芸術文化協会 理事
理事	宮原 俊郎	南九州市文化協会 会長

役職名	名前	所属
広報部長	林 竜一郎	かごしま文芸研
広報副部長	初音家 政鵬翔	ブブ 主宰
理事	天達 美代子	鹿児島県文化交流協議会
理事	福園 力	鹿屋市文化協会 理事
理事	加治木 教充	郡山地域文化協会 会長
理事	河野 洋子	錦江町文化協会 会長
事務局長 (副会長兼務)	川原 純子	いちき串木野市文化協会 副会長
監事	永山 作二	霧島市文化協会
	松元 幸男	出水市文化協会

【 顧問 】

名誉顧問	塩田 康一	鹿児島県知事
顧問	熊副 穰	日本写真家協会会員 熊副写真事務所
	二見 剛史	志學館大学 名誉教授

【事務局業務】

事務局業務職員	宇都 大作	鹿児島市芸術文化協会 理事
---------	-------	---------------

オリーブオイル専門店
SANTA
サンタ

〒892-0828
鹿児島市金生町1-4
TEL 099-806-2096
https://www.will-santa.jp/
mail info@will-santa.com
営業時間 / 11:00-18:00
店休日 / 毎週火曜日・日曜日

マルヤガーデンズ
いづろ通電停
なや通り
山形屋 1号館
山形屋 2号館
鹿児島銀行本店

編集後記

本年もコロナ過での活動を模索しながらではありましたが、少しずつ感染症対策重視で、文化活動を始動したところであります。延期が続いていました3年目の今年、やっと実施することになりました世界自然遺産登録記念「県民文化フェスタ in あまみ2022」は、奄美群島の伝統文化の保存版になるのではないのでしょうか。稀少な舞台を多くの皆様にご覧いただければ幸いです。また、現地とのオンライン会議や、その配信等、デジタル化を取り入れる試みにも初挑戦することとなりました。

今号では、もうひとつの新たな挑戦をしました。幅広い年齢層に読んで頂きたい！その想いから来年、鹿児島県で行われる「全国高等学校総合文化祭」に向けた取り組みを「高校生の、高校生による、高校生のための」ページを設け、文化活動の紹介をすることとしました。次号に渡り紹介してまいります。広報部では、手にとって直ぐに見える、文化の再発見になれるなど少しでも魅力的な機関紙として県民に周知頂けるよう、アンケートをとっていきま

広報部副部長 初音家 政鵬翔

すので、遺憾ないご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。デジタル化が進む一方で、県内各地の文化協会とのスムーズな情報交換は難易度も高く、少なくとも手作り感満載で、ぬくもりもある機関紙が必要とされ、文化交流の架け橋になればホッといたします。愛される機関紙でありたいですね。

今後とも、どうぞご愛読頂きますようお願いいたします。末尾になりましたが、今回、広告協賛頂きました皆様へ、ご賛同・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。今後とも引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報部

林 竜一郎(かごしま文芸研)

初音家政鵬翔(舞踊劇団ブブ主宰)

加治木 教允(郡山地域文化協会)

河野 洋子(錦江町文化協会)

野邊 美代香(鹿児島連合華道会)

福園 力(鹿屋市文化協会)

VAYoreLA JP | VAYoreLA | vayorela | vayorela.jp

VAYoreLAの公式アカウント

LINE はじめました。



友だち登録で

10%OFF

クーポンGET!

